

どんな治療方法があるの？

更年期障害の治療には、女性ホルモン(エストロゲン)の減少を補うホルモン補充療法や、漢方療法などの薬物療法もあります。



更年期
障害は

治療できます。

治療法①

ホルモン補充療法(HRT)

H^{ホルモ}ormone R^{補充}eplacement T^{療法}herapy

のぼせや発汗などの症状の改善に

卵巣機能の低下で減少した「エストロゲン」をお薬で補う治療法です。

HRTには、飲み薬や貼り薬、塗り薬など、いろいろな種類があります。それぞれの症状や希望に合わせて医師と相談しながら処方されます。

※個人やお薬の種類によって効果に差があります。



エストロゲン
(卵巣ホルモン)

黄体ホルモン
(プロゲステロン)

エストロゲンは、働き者！

血管・血液

悪玉コレステロール(LDL)を減らし、善玉コレステロール(HDL)を増やす。

骨

カルシウムの流出を防ぎ、骨量を保つ。

皮膚

コラーゲンや水分量を調整し、肌のハリやうるおいを保つ。

粘膜

水分量を調節し、うるおいを保つ。

脳

細胞の働きを活発にし、記憶力や認知力を保つ。

子宮・卵巣

妊娠や出産の機能を整える。

乳房

乳腺の働きを活発にする。

治療法②

プラセンタ療法

プラセンタには、心身のバランスを回復させ、自然治癒力を高める力があります。アンチエイジング効果も、プラセンタの魅力のひとつ。

当院では、プラセンタ外来を行なっております。お気軽にご相談ください。

治療法③

漢方療法

心身のバランスを整え、複合的な症状を緩和します。

治療法④

食事療法

バランスのよい食事と、ビタミン、ミネラルをしっかり摂ることで、体の調子を整えます。

治療法⑤

運動療法

運動には、ストレスを解消し、気持ちを明るくする効果があるといわれています。

更年期を幸年期に

更年期からの人生をいきいきと前向きに過ごすためにも、ご自身に合った治療法と一緒にみつけましょう。当院の「更年期外来」にお気軽にご相談ください。



もしかして、これって、更年期?

気になるこんな症状はありませんか?

- 顔がほてる
- 汗をかきやすい
- 腰や手足が冷えやすい
- 息切れ、動悸がする
- 寝つきが悪い、眠りが浅い
- 怒りやすく、イライラする
- くよくよしたり、憂うつになる
- 頭痛、めまい、吐き気がよくある
- 疲れやすい
- 肩こり、腰痛、手足の痛みがある



更年期チェックシート

近ごろ気になる、体調のあんなこと、こんなこと。病院に行くべきかどうか分からない…。もしかしたら、「更年期障害」かもしれません。まずは、更年期チェックをしてみましょう。

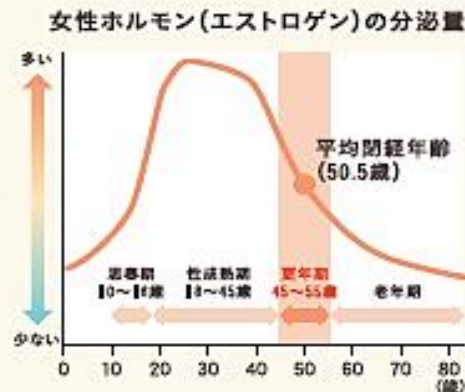
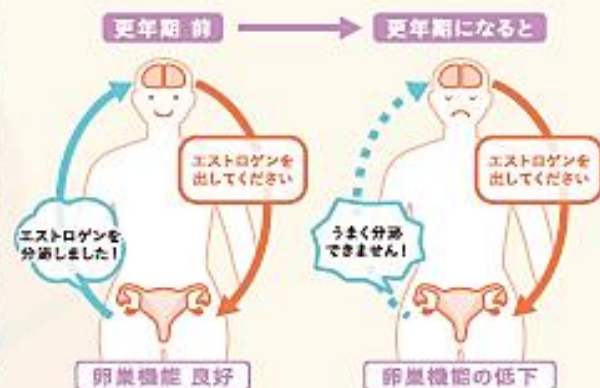
※これらの症状は、更年期障害以外でも現れることがあります。とくに気になる場合は、専門医に相談しましょう。

更年期は

女性の誰にでも訪れるもの。

そもそも「更年期」とは?

更年期とは、女性の閉経を挟んだ10年間を指します。女性ホルモンのひとつ「エストロゲン」の分泌量が急激に減ることで、体のホルモンバランスが乱れ、心身ともに体調を崩しやすくなる時期です。いろいろな症状が現れますが、日常生活に支障があるものを「更年期障害」といいます。



のほり病院 ☎099-256-1313

ホームページ▶

